

地域福祉活動事例集（案）について

和歌山市内で地域福祉活動を行っている団体（自治会、地区社協、民生委員・児童委員、老人クラブ、NPO・ボランティア団体など）の公募を行い、そのうち先進的な10事例を和歌山市地域福祉計画概要版（事例集）に掲載する。

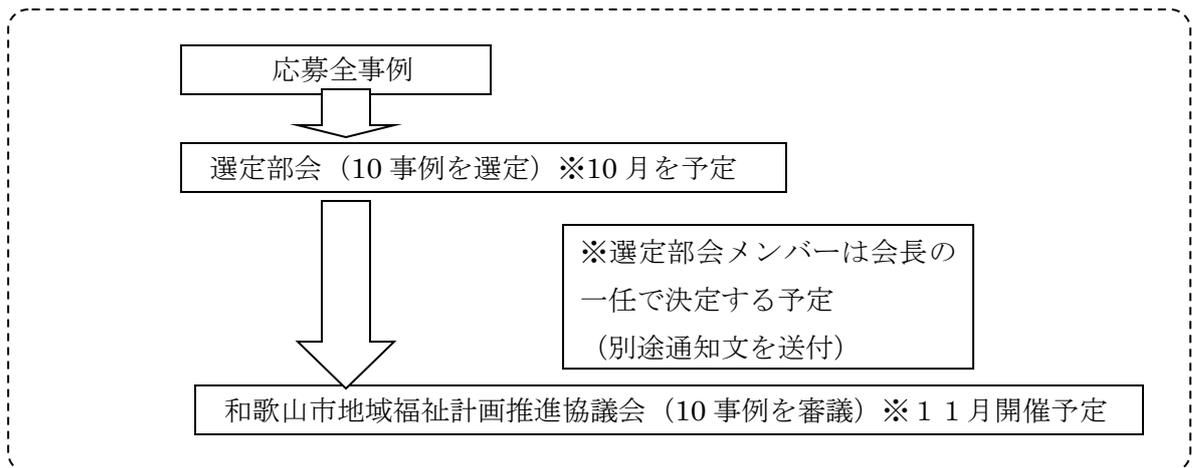
1. 事例の募集方法

公募（市報わかやま9月号、市ホームページ、SNSなど）

2. 事例の選定

（1）選定の手順について

選定部会を設置し、応募事例の中から10事例を選定し、11月に開催予定の和歌山市地域福祉計画推進協議会で諮り、決定する予定です。



（2）選定基準（案）

以下の視点を踏まえつつ、和歌山市で行われる地域活動のモデルとなるような先進的な事例を選定します。

1. 活動内容等について

- （1）「活動内容」が明確に記載されており、充実した活動を行っているか。
- （2）「活動上の工夫」が明確に記載されており、創意工夫されているか。
- （3）「活動予定」が明確に記載されており、今後の継続及び発展が見込めるか。
- （4）活動を事例集に掲載し、広報することで他地域の活動の参考になることが見込めるか。

2. バランスについて

- （1）活動地域のバランスを考慮（北部、東部、西部、南部など）
- （2）ジャンルのバランスを考慮（高齢者、障害者、子どもなど）
- （3）活動単位のバランスを考慮（民生委員・児童委員、社会福祉協議会、老人クラブ、ボランティア・NPO、その他など）

3. 和歌山市地域福祉計画概要版（事例集）の規格

A4版 カラー 全16ページ 3,000部

ページ構成（表紙（1頁）、裏表紙（1頁）、計画概要（4頁）、事例集（10例×1頁））

4. スケジュール

7月 協議会

8～9月 事例募集（9月号市報わかやま・和歌山市HP・SNS等で募集）

10月 選定部会

10月 先進10事例の訪問調査

11月 協議会

2月 協議会

年度末 事例集完成

「地域福祉活動」事例の募集

和歌山市では、思いやりのある福祉社会の実現を目的とした「和歌山市地域福祉計画」を策定しており、第5次和歌山市地域福祉計画の策定（令和7年3月予定）にあたり、事例集（第5次和歌山市地域福祉計画概要版）に掲載する、地域福祉の活動事例を募集します。

他の地域のモデルとなるような先進的な事例（10事例程度）を選定し、掲載します。地域や地域福祉団体等で実践されている支え合い、助け合い等の活動に関する情報をお寄せください。

1. 応募方法

所定の用紙に必要事項を記入していただき、持参・郵送・FAX・電子メールのいずれかの方法でご提出ください。

※応募用紙の様式は同課で配布、市HP（ID：1001706）に掲載しています。

※高齢者・地域福祉課から活動内容についてお聞きする場合があります

2. 提出期限

令和6年9月27日（金）〈消印有効〉

3. 応募・問合せ先

〒640-8511

和歌山市七番丁23番地 和歌山市役所 高齢者・地域福祉課

Tel：073-435-1063

Fax：073-435-1268

E-mail：koureisha@city.wakayama.lg.jp

(参考)

第4次和歌山市福祉計画 概要版

わかやま・元気ふくし計画
～第4次和歌山市地域福祉計画概要版～

**“元気な福祉のまち”
活動事例集**

NPO法人 ほっとタウン有功
一般社団法人 地域生きがいサポートナーズ
高松相上り会（高松地区老人クラブ連合会）
西浜婦人会（さえずり会）
紀伊地区民生委員・児童委員協議会

城北第27区自治会
おのみなどども食堂の会
四箇郷地区社会福祉協議会
三葛きずなの会
NPO法人 和歌山市新酒会友嗣



和歌山市

NPO法人 ほっとタウン有功

【組織の構成】
登録会員数：60人 実活動員数：45人
（会員は有功地区に住む有志をもって構成）

【活動の拠点】
有功地区各地

団塊世代の男性たちの居場所、地域交流サロン‘ほっと’

●活動をはじめたきっかけ

地域交流サロン‘ほっと’は当初、高齢後世間とのつながりが少なくなり、家庭でも時間をもてあましがちな団塊世代の男性たちが集まって話せる居場所として、平成17年から地域の歩いて通える場所に開設しました。

●主な活動

サロン活動では、お茶を飲みながらざやかに話したり、体操、手芸、折り紙教室に参加したり、男女間わず気軽に集まり楽しい時間を過ごしています。毎回15人程度の参加者があり、花見やカラオケも開催します。

より住みよい地域づくりを目指す中で、サロン参加者の発案で、六十谷駅の置き傘コーナーの運営・管理を行っています。皆で協力して様々な施設や学校などに不要品の提供を呼びかけて傘を集め、故障がないか点検し、日曜大工の得意なメンバーが傘立てを作りました。地域の方に喜んで利用していただけであり、地元の小学生がポスターを作って駅に貼ってくれています。

また、午後のサロン会場では体操教室が開催され、主に地域の女性の方が参加しています。体操の後には茶話会でおしゃべりしながら、健康や地域についての話題や情報を共有しています。

●活動の工夫

地域の声をサロンから発信し、住みやすい街づくりができるよう、サロン参加者からのボトムアップ方式で情報を共有しています。

例えは集まって話す中で、参加者は地域の話題やニュースについて議論したり、やってみたい活動があれば協に相談しながら実現に向けて知恵を出しあっています。

●今後の課題

地域福祉は人が基本。地域住民の誰もが地域福祉の担い手であり、受け手です。皆で協力しながら出しあった知恵を実践に向けて繋げていくことができるサロン活動を、継続できるような進めたいと思います。「誰もが安心して暮らせるまちをみんなで創る」。これからの課題です。



サロン活動の様子



体操教室の様子



傘の作り直し

5